

## 子どもへの暴力防止の 知識とスキルを学ぶ基礎講座

子どもたちに  
いじめや誘拐、虐待、性暴力などの  
あらゆる暴力から  
自分を守るためのプログラムを  
小学校で実施する  
子どもへの暴力防止の専門家を養成



### キャップ CAPスペシャリスト養成講座 in 沖縄

**日時** 基礎編 2026年6月12日(金)・13日(土)・14日(日) -計24時間-  
(1日目 10:00~18:00 / 2日目 9:15~17:15 / 3日目 9:00~17:00)  
実践編 2026年7月11日(土)・12日(日) -計16時間-  
(1日目 10:00~18:00 / 2日目 9:00~17:00)

**場所** 沖縄県男女共同参画センター ているる  
(沖縄県那覇市西 3-11-1 / 098-866-9090)

CAPとは、Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略で、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための教育プログラムです。この講座はCAPプログラムを実践する暴力防止の専門家(CAPスペシャリスト)を養成する講座です。

子どもへの虐待や暴力についての基礎的な知識やスキルを学べる講座ですので、どなたでもご参加できます。子どもに関わる全てのおとな(親、教師、保育士、保健師、電話相談員、カウンセラー、子ども会のリーダー、学童保育や子ども食堂のスタッフ、児童福祉施設・児童相談所のスタッフ、行政職員……)に受講していただき、CAPの理解者と実践者として、共に子どもの人権が尊重される社会を創る仲間になってください。

**【対象】** CAPに関心のあるすべてのおとな(18歳以上) **【定員】** 40人

**【講師】** J-CAPTA トレーナー 矢島 宏美・三枝 菜美子

※J-CAPTAはCAPプログラムの使用に関する権限をもつ日本のCAPトレーニングセンターです。

**【受講料】** : 4万円(基礎編24,000円・実践編16,000円) \*テキスト代4,400円

※学生など22歳までの方は、受講料免除が受けられます。

\*ただし終了後3年間は地域のCAPグループあるいはJ-CAPTAに所属していただきます。

**【申込み】** 受講申込書に必要事項を記入の上、メールまたはFAXでお送りください(申込締切:6月2日)

※先着順にて受け付け、定員になり次第締切ります。5/23より受講確定書をお送りします。

なお参加人数等によっては開催を延期する場合がありますが、その場合も5/23までにご連絡いたします。

主催 一般社団法人 **J-CAPTA**(Japan CAP Training & Action)

問い合わせ・申込み TEL 090-2876-9429

総合インフォメーション j-capta@j-capta.org ホームページ <http://j-capta.org>

協力: 特定非営利活動法人おきなわCAPセンター (098-975-9753)

## CAP スペシャリスト養成講座の内容

基礎編 3日間 24時間	オープニング・サークル	講座目的・グラドルール
	講義Ⅰ 防止教育の思想と理論	1. 子ども虐待問題に関わる4つの分野 2. 子ども虐待への対応の歴史 3. 子どもの権利 4. エンパワメントの思想と方法 5. レイプのフェミニスト分析 ビデオ: 「NOW I CAN TELL YOU MY SECRET」
	講義Ⅱ 子ども虐待問題の知っていなければならない基礎知識	1. 子ども虐待の分類 2. 児童虐待防止法 3. 沈黙の役割 4. 性的虐待の4つの前提条件 5. 性的虐待順応症候群 6. ドメスティック・バイオレンスと子ども
	講義Ⅲと練習・コーチ 子どもワークショップ	1. CAP 子どもワークショップの実演 2. 実施に関する留意事項 3. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅳと練習・コーチ ワークショップ後のトークタイム	1. トークタイムの目的 2. トークタイムにおける防止スペシャリストの役割 3. クライシスカウンセリング(緊急相談)の方法と技術 4. 虐待、いじめを受けている子の示す兆候 5. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅴ おとなワークショップのやり方	1. おとなワークショップの目的 2. おとなワークショップの流れ 3. おとなワークショップでの質問への対応
	講義Ⅵとクロージング・サークル	CAP の実践について、確認事項
実践編 2日間 16時間	オープニング・サークル	CAP とわたし
	ゲスト講師による講義	「児童相談所の機能と役割、その権限」 ～虐待対応における市町村および学校との連携～
	おとなワークショップの実践	①打合せから振り返りまで ②実施のポイント ③学校理解を深める ④練習・発表・コーチ
	子どもワークショップの実践	①実施にあたっての留意事項 ②ファシリテーター、 ロールプレイヤーの役割と実施のポイント ③練習・発表・コーチ
	トークタイムの実践	①トークタイムの持ち方 ②トークタイムで出会った子 どもたち ③トークタイムのつなげ方 ④練習・発表・コーチ
	クロージング・サークル	今後のCAP活動に向けて、CAP スペシャリスト認定証授与

### 受講すると何ができるのか？

CAP スペシャリスト養成講座(5日間40時間)を修了すると、CAP スペシャリストの資格を認定いたします。

CAP スペシャリストはCAPプログラムを実施することができます。ただしその場合は地域のCAP実践団体に所属することが必要です。

CAP スペシャリストとして活動しない方は、基礎編のみの受講も可能です。

## CAP プログラムについて

現在 CAP は、多くの幼稚園・保育園、小中学校、特別支援学校や児童養護施設等で実施されています。

**子どもワークショップ**…子ども対象のプログラムです。クラス単位で実施します。年齢や障がいのニーズ等によってプログラムの内容や所要時間が違います。ロールプレイ（役割劇）を見たり参加したりなど、参加体験型の学習形態で自分の感じたことや考えたことを話し合いながらすすめます。一人一人が尊重されて楽しく暴力防止の具体的な方法を学びます。

**おとなワークショップ**…保護者や教職員、地域の人など、おとなを対象にしたプログラムです。子どもと暴力についての正しい知識を知り、子どもの人権尊重とエンパワメントの支援のあり方について考えます。おとなワークショップは単独でも実施できますが、子どもワークショップを実施する際には、事前に教職員ワークショップと保護者ワークショップが必要です。

詳しくはホームページでチェック ☞ <http://j-capta.org>



## CAP ワークショップを受けた感想

・ぼくは、5年生の時ちょっといじめられていました。今、日本中でいじめによる自殺が続いています。同じ人間として悲しいと思いました。ぼくは日本中の子どもにCAPが必要だと思います。なぜかというところCAPはいじめや暴力のことについて正しく話してくれ、人権のことも話すので、いじめられている人は勇気が出るし、いじめている人も気づくと思うからです。(小学生)

・安心・自信・自由を誰にも奪われたくないと思った。自分らしさを大切にしたい。いやな事があたら友だちに相談したいし、友だちの相談を一生懸命にきいてあげたいです。暴力は絶対にしない、させられない。(中学生)

・劇を実際やってみると、どうするのいいかもっと知ることができました。みんなの力をかりることで、自信を持てるということもわかりました。楽しい時間をありがとう。(小学生)

・私が何気なく言っていた言葉が、子どもが話そうとするきっかけを失っていたことに気付きました。意識的に子どもの話をしっかりと聴くようになったら、子どもが自分から話してくれるようになりました。(教師)

・中学生の娘が学校から帰る途中男に肩をつかまれ声をかけられました。「やめてください」と言っても手を放してくれないので、大声で叫び逃げて帰ってきました。娘は相当ショックを受けたようです。「大きな声が出せて良かったね」とほめてやると、「小学校3年生の時に受けたCAPの事を思い出して声が出た」との事。当時私もCAPを受け子どもと一緒に練習していました。不審者情報があるたびにそのことを話してきたことが幸いしたようです。(保護者)

### ※感染拡大防止への取り組み(J-CAPTA 感染症拡大防止ガイドライン 2025年5月現在)

- 体調に心配のある方、体調不良の場合はお休みください。
- 十分な広さの会場を確保し、定期的に換気をします。
- お申込みの皆さまには、その他「感染拡大防止のお願い」をお送りいたします。

